

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	私立幼稚園園児補助事業			会計	款	項	目	大	小
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	石井 由美子				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	私立幼稚園に在園する園児の保護者	意図	保護者の経済的負担の軽減
事業内容	6月1日現在で私立幼稚園に在園し、流山市に住居票がある園児を対象とし、3・4・5歳児の園児の保護者に補助金を支給			
事業開始から現在までの状況変化	昭和56年に市の単独事業として開始し、就園奨励費補助金と合わせて支給することで保護者の経済的負担軽減を図ってきた。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		補助対象者	3,157	3,141	3,222	人	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 私立幼稚園1校が新設されたこと、また幼児人口の増加に伴い、補助対象者が増加した。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		73,612,000	72,965,000	74,169,532			
事業費（b）（円）		58,160,000	57,895,000	59,255,000			
うち一般財源		58,160,000	57,895,000	59,255,000			
職員給与費(c)(円)		15,452,000	15,070,000	14,914,532			
人役・職員(人)		2.00	2.00	2.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	事務処理の効率化を図る。
今年度(H26)に実施した取り組み	保護者及び幼稚園の補助金事務処理の簡素化を図るため事務の見直しと様式等の変更を行った。

取り組みの課題	保護者への支給方法の改善について（市幼稚園保護者から市保護者へ変更し、効率性と安全性を高める。）
今後の改善計画	就園奨励費補助金と同じように、市が直接保護者に支給できる仕組みとするよう先進自治体の事例等を研究する。